

凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺区域機能再編整備プラン策定意見交換会
議事録

開催日：12月3日（土） 開催場所：調布市立第三小学校体育館

■1班

- ・いそじろう公園のルール仮案では、利用時間帯が「朝8時～夕方4時45分まで」と設定されていましたが、短いと思います。時間は工夫があってもいいと思います。そもそも小さい子どもたちがやわらかいボールを使って遊ぶというのが公園としての設定です。今の使われ方だと少し違っているので、使われ方の表示の仕方について工夫が必要だと思います。また、出口付近に「車止め」と表示されていますが、車の通りも激しく危ないため、こちらも工夫が必要だという話をしました。
- ・凸凹山児童公園、布田崖線、若宮自然広場は、全体的なテーマとして「西の実篤記念館」というイメージを共有しました。固定遊具を設置するより、今ある自然をそのままいかせるような公園になるといいと思います。動線については、隣接している川を暗渠にする、橋をかける、というアイデアも出ていました。小さい子どもにとって橋は移動時に危ないため、暗渠のほうが自転車なども通りやすいのでよいという話をしました。また、将来的には、バス停をいかしながら、自然をメインに管理していきながら、自然をいかしながらコーディネートしてくれる方がいるといいなと思いました。

■2班

- ・いそじろう公園のルール案では4点ありましたが、1, 2, 3, 4の順ではなく、大前提として4番目の「人に迷惑をかけない」「自分たちだけが遊んでいるわけではなく、ほかの人たちもいることを忘れない」が大前提で、その上で時間帯や、1, 2, 3といったルールがあると思います。ルールを細かく作っても、本当に守れるかどうかは疑問です。また、さらに細かいルールを作ると「書かれていないからいい」と抜け道ができてしまうかもしれません。子どもも大人も、「自分も楽しみたい、他の人も楽しみたい」という、いいところを取って考えることが大事だと思います。
- ・凸凹山児童公園、布田崖線、若宮自然広場は、「自然を残す／自然環境をどういかすか」が大事にしていくテーマだと思います。布田崖線に人が立ち入る空間を広げるとなると、ごみの投棄等の問題もあり、いきなり開放するのは難しいと思いますが、通路とすることで人が通りやすくなるといった、利便性も考えられるため落としどころが難しいと思います。お金を払って入れる他公園のケースありますが、せっかく近くに素敵な公園があるので、できれば常時開放したいです。一方でどうしても管理面でマンパワーが必要となります。、人がいかに管理しながら子どもたちにいろいろなことを体験させるかといった点では、プレイリーダーといった人間が必要となると思います。また、遊具を設置するのではなく、自然な環境をいかして、子どもたちが自分たちで遊びを作り上げていくことが大

事です。他の遊具がある公園では、主に遊具で遊ぶことになりませんが、自然環境が豊かな場所では自分たちで遊びを作り、子どもと大人が絡みながら公園を利用していくことが大事という話になりました。

■3班

- ・いそじろう公園は、今後拡張されるという話がありますが、小さい子が遊べるボール遊びのスペースをもう少し広めにとってもいいのではという話が出ました。利用時間については、今遊んでいる子どもたちの現実と合っていないのではないのでしょうか。「フェンスに向かって投げない、けらない」とありますが、サッカーの練習をしている子たちを考えると、それはあまり現実的ではないと思います。近隣の住民の方への配慮をどうするのか考える必要があります。
- ・その他の公園に関しては、植栽を整備する際に背が高めの花壇を設け、近隣の方やご年配のかたが整備をするコミュニティーのようなかたちで使えるようにして、(樹木だけではなく、花を置くと良いという意見が出ました。
- ・布田崖線は自然を残していくということで意見が一致しています。もう少し凸凹山児童公園のように開放日を増やして、月1、2回ではなく定期的に開放することで利用しやすくなると思います。近隣の住民の方への配慮(早朝利用時の騒音など)が非常に重要なので、遊具を増やす等の検討についてももう少し見極める必要があると思います。若宮自然広場を布田崖線側に拡張して使えるようにしたらどうかという意見もありました。

■4班

- ・いそじろう公園では公園外周に植栽を設け日陰をつくる案がありましたが、周囲から内部が見えるというのがよい点なので、植栽の整備はやらなくてもいいと思います。ルールについても、案をしっかりと作成し掲示するのはよいと思います。時間は、近隣住民のご意見で決定していると聞きましたが、できれば他の公園と共通して作るのがいいのかなと思いました。よい意見としては、時計を付けてチャイムを鳴らして時間がわかるようにする等がありました。門扉についても、整備しなくてよいと思います。また、今後敷地の拡張があった際には、できれば住宅から少し距離を置いた場所に整備してもよいと思います。
- ・凸凹山児童公園については、自然を残してそのまま活用して、よい公園にしたらどうかという意見がありました。凸凹山公園は今の特色のある地形をそのままいかし、現状として利用者が工夫して遊んでいるため今のままでよいと思います。
- ・布田崖線では、遊具を設置するとしても自然に溶け込んだような木材の遊具を一つか二つ付けるくらいでいいと思います。また、近隣住民のかたのご意見も考慮したほうがよいと思います。管理時間については24時間管理ではなく、時間を区切って管理者が管理するのがいいのではないかという話がありました。
- ・若宮自然広場にドッグランを作ってもよいですが、糞がちらばってしまい、自然をいかし

た公園が台無しになってしまうのではないかというご意見がありました。

- ・動線を布田崖線から大通りまで通すというご意見もありましたが、自転車利用のひとが入ってきてしまってしまうという懸念もありました。
- ・トイレをできればつけてほしいという意見もあったので、将来的に真木家住宅を管理拠点として改修してもよいと思います。

■5班

- ・いそじろう公園のルール案について、文字をたくさん書かれても実際に読むのかという話になりました。ルールを簡略化した上で、イラストで表す、箇条書きにするなどの工夫をしたほうが子ども達も理解しやすいのではないかという意見が出ました。また、「公園が一体どういう場所なのだろう」という意識の部分が大事なかと思います。時間帯については、ボール遊びが4時45分までとなると実際に遊べる時間があまり確保できないという話になりました。夏と冬とで時間の融通がきくといいと思います。また、自転車置き場を設置する、雨水の排水施設を設置する、公園の入り口をバリアフリー化して色々な人が使えるようにしたいという意見が出ました。いそじろう公園は、大きな子たちがボール遊び等で自由に遊ぶことを役割として、他の公園では休める役割とする等、それぞれの特性に合わせてらよいと思います。一番多く出たご意見として、休憩をメインとした公園であるとか、木陰で休めるサークルベンチがあると利用しやすいのではないかという意見が出ました。
- ・布田崖線では、プレーパークなど自然をいかした遊具があったほうがいいという意見もありましたが、近隣住民の方のプライバシーや常時開放状態での騒音問題等の意見がありました。凸凹森の会の方の話を聞くと、自然観察等は子どもたちにぜひ体験してもらいたいことだと思いますので、「一時的に利用しても可」ということで自然の環境保全をしながらも、子ども達が利用できるように、「自然をいかす、自然を残す」という利用もできるのではないかと思います。凸凹山児童公園は凸凹の地形をいかした広場で子ども達が自由に遊び回れるようにする、また若宮自然広場は開けている土地なので、障がい者の人達が遊べる（今はポッチャなどの色々な遊びが増えている）、運動ができる広場として、色々な方々が自由に使えるようにしていく、という意見が出ました。以前は若宮八幡神社でお祭りがあったので、若宮自然広場の様な公園を残しておく、お祭りの際にいろいろと使えるのではないかという意見も出ました。